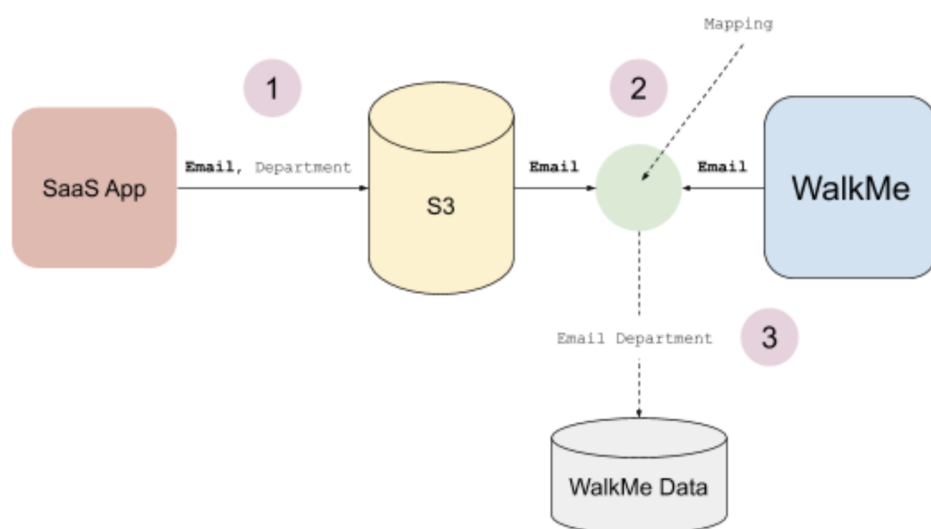


Amazon S3の受信統合

概要

S3の受信統合では、S3上にあるサードパーティーのソフトウェアをWalkMeに接続できます。インテグレーションでは属性を取得してWalkMeにデータを入力します。WalkMeは、外部システムからのデータを分析とコンテンツのセグメンテーションに使用します。



ユースケース

CRMの属性に基づいてターゲットを絞りWalkMeコンテンツを表示できます。

- サイトで「プレミアムユーザー」にのみシャウトアウトを表示。
- 自社の特定部門の従業員を対象にスマートウォークスルーを表示。
- Insightsとレポートビルダーで「ユーザー」フィルターカテゴリとして使用。

カスタマーサポートや成功（ServiceNow、Zendeskなど）の属性に基づいてターゲットを絞りWalkMeコンテンツを表示できます。

- 2つ以上のサポートチケットを開いたすべての顧客にNPS調査を表示。

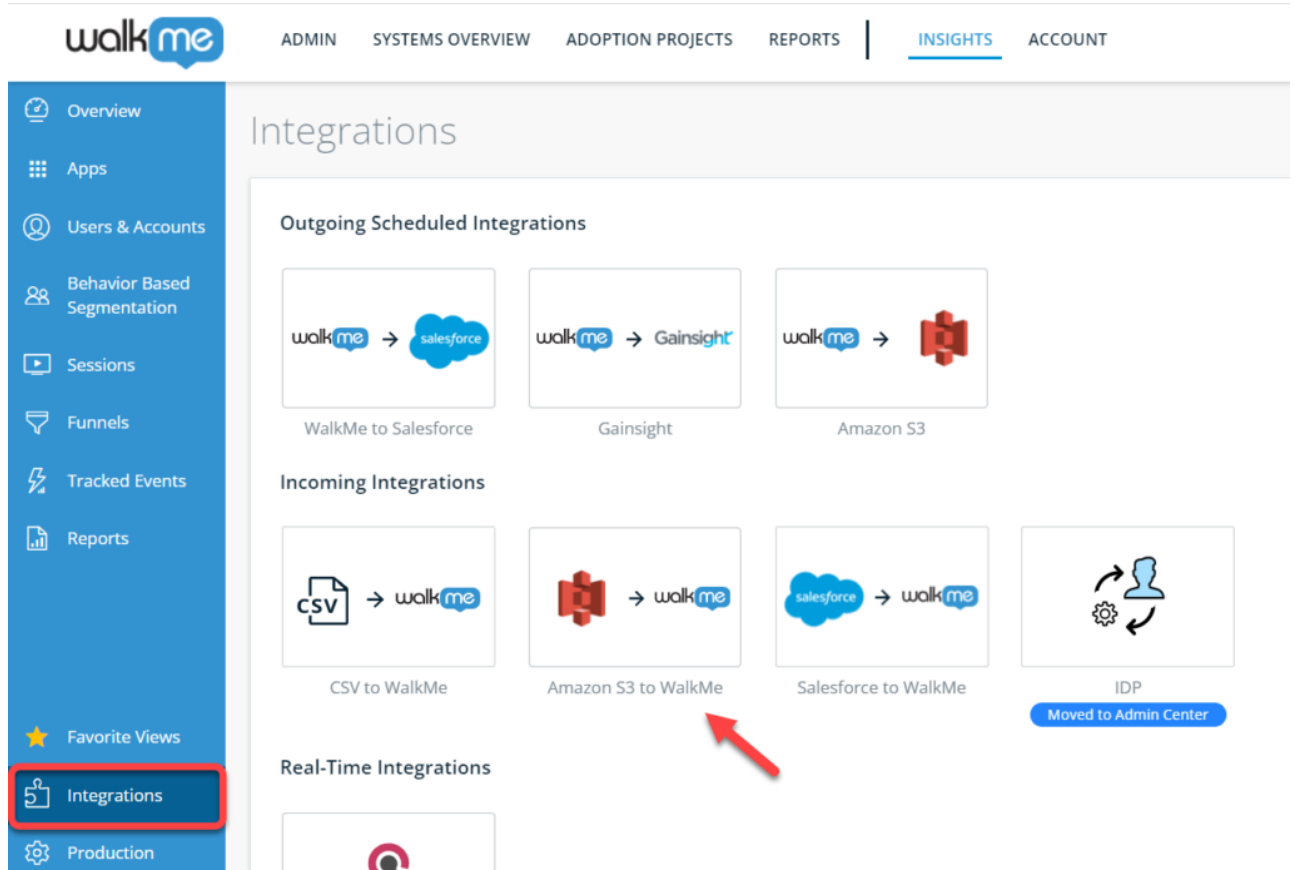
前提条件

統合属性をWalkMeにマップするには、一意のユーザーIDを定義する必要があり、統合のサードパーティーサービスではS3にデータをCSVフォーマットで保存する必要があります。

次に、S3上の特定のバケットにCSVファイルを配置するとWalkMeがこのファイルを読み取り、このファイル属性情報に基づいて、エンドユーザーをターゲットにできます。

受信統合の作成

1. insights.walkme.comにおいて、**Insights**の[Integrations(統合)]ページで[Amazon S3 to WalkMe(Amazon S3からWalkMe)]を選択します



2. [+ New Integration(新しい統合)]をクリックして、ウィザードの手順に従って[S3バケットURL]権限とソースファイル[CSV]を設定してください。
 - 注：基本認証はサポートされているため、セットアップの際に提供することができます

New Amazon S3 Integration ✕

1
Set Source & File

2
Select Columns

3
Schedule & Save

Set Source

+ New Source ▼

Source Name

My Source Name

Bucket

my-bucket-name

Region

US West (N. California) ▼

Authentication Method

Provide Credentials (Access Key & Secret Key) ▼

Access Key

WALKMEAMAZONBUCKETKEY

Secret Key

wjalrXUtnFEMI/K7MDENG/bPxRfiCYEXAMPLEKEY

Path & File Name

my/path/filename.csv

(下記参照)。

3. データ検出後、**ユーザー**識別子をマッピングして、ターゲティングのためにWalkMeに渡す任意のプロパティ（属性）を選択します。
 - 注：必要に応じて、これらのプロパティの名前を変更することができます（こちらはEditorに表示される名前です）。
 - 統合を使用するための前提条件は、WalkMeEditorで一意的ユーザーIDを設定することです。

New Amazon S3 Integration

1 Set Source

2 Map Columns

3 Schedule & Save

Choose the column that identifies each unique user in the source file.

Unique User Identifier Column ?

Select column to identify users by

Unique User Identifier Attribute ?

Select column to identify users by

Match the unique user identifier column in the source file and an existing property to continue

Properties to Import (3/10 Properties available)

By default, properties are imported with their original name. You can rename properties for better readability.

☒ email ?

→ something .else

Rename Property

☐ role ?

Rename Property

☒ department ?

Rename Property

☒ joined.date ?

Rename Property

< Back

CONTINUE >

4. ステップ3を完了すると、成功または失敗のメッセージを受け取ります。
 - 必要に応じて、問題を解決する手順に従ってください。
5. [Continue (続行)] をクリックします

1

Set Source

2

Map Columns

3

Schedule & Save

Unique User Identifier Column ?

email

→

Unique User Identifier Property ?

UserID

✓

395 successful matches

Properties to Import (3/10 Properties available)

By default, properties are imported with their original name. You can rename properties for better readability.

☒	email ?	→	something .else	
☐	role ?		Rename Property	
☒	department ?		Rename Property	
☒	joined.date ?		Rename Property	

< Back

CONTINUE >

6. 新しいAmazon S3統合の名前を付けて、任意のインポートスケジュールを設定します（受信統合は、設定済み同期間隔に応じてS3バケットからCSVファイルを取得することで機能します）。

New Amazon S3 Integration ×

1 Set Source ✓

2 Map Columns ✓

3 Schedule & Save

Integration Name

Schedule Import

Weekly
on
Monday
8:00 AM

< Back
SAVE

7. 統合管理テーブルで新しく作成された統合を参照してください。

統合管理テーブル

このテーブルでは、統合の変更 削除と以下のプロパティの確認ができます。

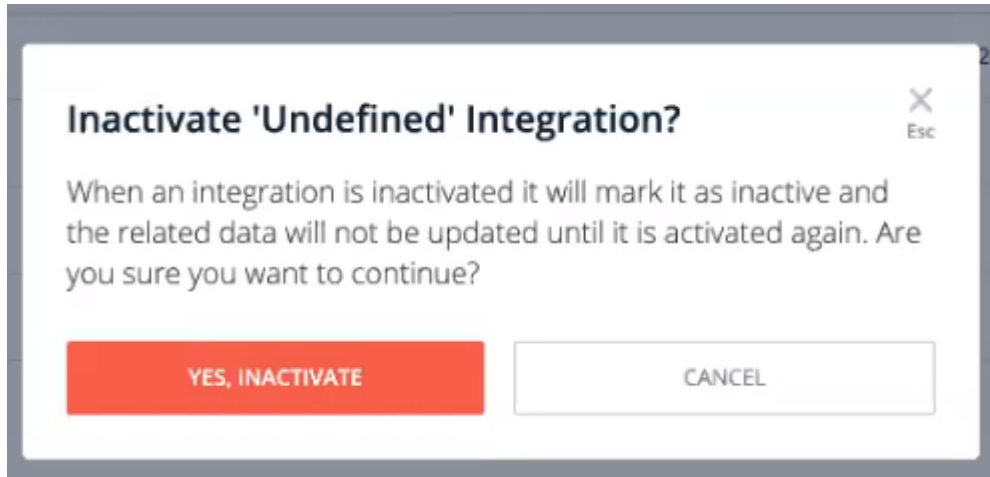
Amazon S3 Incoming Integrations (7/10 properties in use)

SOURCES
NEW INTEGRATION

Name	Source	Imported Properties	Scheduled	Last Run	Status
Users DB	My Bucket 1	1	Daily	9/9/2017 ✓	⏻ Inactive
Internal CRM	My Bucket 1	2	Manual	8/22/2017 ⚠	⚙ Active ✎
Support Ticketing CRM	My Bucket 1	1	Monthly	8/19/2017 ✓	⏻ Inactive
Marketing list	Walkme's Bucket	3	Daily	-	⚙ Active

- 統合の名前
- 統合元
- 正常にインポートされたプロパティの番号
- スケジュールのインポート

- 前回の実行日
- 前回の実行が成功したかどうか（緑のチェックマークアイコンまたは赤の危険アイコンで表示）
- ステータストグル
 - こちらを使用して統合を有効化または無効化します。



ベストプラクティス

- 統合の作成プロセスを完了する際、エディターでコンテンツをターゲティングする前に、受信統合テーブルで少なくとも1つの統合が正常に実行されていることを確認してください。
- 統合を変更した場合、変更は次のスケジュール実行時に反映されます。
 - その前にセグメントを変更 / 一時停止する必要がある場合があります。
- 少ないほうが良い - WalkMeに統合する属性の総数に注意してください。
- 統合全体で合計100の属性を使用することができます。

統合データによるコンテンツのセグメント化

S3統合を正常に作成した後で、WalkMeEditor内の受信データを使用してWalkMeコンテンツのターゲットを絞ったルールとセグメンテーションを作成できます。

Group

☐	 User Attributes	MyTestIntergrat...	userid	Exists
--------------------------	---	--------------------	--------	--------

Add Rule

注

セットアップを行っている最中に統合を作成する場合、定義した属性を正確に入力してください。